

# 砂名の ベトナムに乾杯

## 第15回 日本人婦人会アオザイ会とは？

「日本人婦人会アオザイ会」は、ホーチミン市に在住している日本人女性会員の交流の場として1995年に発足された。会員資格はホーチミン市または近郊に住む日本人女性で、主婦だけでなく、仕事を持つ女性にも資格がある。また配偶者が日本人の日本国籍以外の女性、およびアオザイ会の承認を得た女性も対象となる。20代から60代まで幅広く、昨今はホーチミンの生活環境の向上にともない、家族帯同で赴任された子育て世代のママさんも増えている。

会員同士の互助と親交、日越の親善に役立つ活動を行うことが目的である。NGOアジア失明予防の会への寄付や、ホーチミン市内で日本語クラスのある学校に日本語の本を寄贈するなどの活動を行っている。また毎年9月に開催される「日本の震災復興支援チャリティーバザー」では、収益金を寄付している。総会、茶話会、バスツアー、新年会などの懇親会が、二か月に一回程度開かれる。総会では、会計や会則の変更等の報告、役員承認に続き、講師をお招きしてのプチセミナーが行われる。ロビーではメーカーやショップの出店があり、提携店からのお土産やバウチャー、パンフレットが配布される。

入会時に付与される「アオザイカード」は、アオザイ会と提携している飲食店、日本食材店、エステ、美容室、病院、ホテル、学習塾など約400店舗で利用すると、割引や特典が受けられる。弊店の二



アオザイ会のマーク

店舗も提携店である。

会合はホテルのバンケットルームで開催され、お着物をお召しになられる女性たちも増え、日本文化の発信の一助となっている。一部からは「昼から着飾って五つ星ホテルで贅沢をしている」「配偶者の勤め先によるヒエラルキーがある」など、あることないこと噂する向きもいらっしやるようだが、実際に入会してみると、みなさまたいへん気さくで親切に接してくれ、半日のバスツアーに初めて独りで参加した時も、すぐに友達ができた。長くこの地に留まることは珍しく、帰任や別の国に移転される方がほとんどなため、一期一会を大切にしようという心情が働くのであろう。私もこのような機会がなければ、子育て世代の奥様方と話す機会はなかったに違いない。そしてホーチミンの日本人社会全体がそうであるように、みんな助け合いの精神に満ちており、和気藹々としている。昨今特に会の傾向が、分け

隔てなく、フランクになって来ているように思う。

恒例のバスツアーでは、関係者以外立ち入り禁止の工場内の見学や、地下鉄工事現場の見学、観光スポットなど、たいへん勉強になり見聞を広めることができる。

こんなに楽しく有意義な会を継続できているのも、ひとえに歴代の役員の方たちの地道で誠実な努力と献身のおかげである。役員は来期から6名になる。会員の中から選出され、総会で全会員から承認を受け、任期は一年。特に今期はコロナ禍で、日本とフランスともオンラインで繋ぐリモート運営で、さぞかしたいへんだったろう。にも関わらず、茶話会や総会で、四重奏、バレエ、民族舞踊など、今期は芸術鑑賞が多く、間近で堪能できた。

年会費は100万VNDほど。「敷居が高い」「人間関係が複雑では？」と、あらぬ噂に惑わされて躊躇っていらっしやるとしたら、もったいないことである。



月森砂名(つきもりさな)

奈良県出身。同志社大学卒業。2015年、ベトナム初の角打ち【日本酒で乾杯!】に続き、2020年、Pham Viet Chanhにて日本酒専門の「角打ちのある酒屋」【蔵 KURA】をオープン。経営に携わる。東京で舞台撮影や制作の仕事をする傍ら、作家活動を行う。2009年よりNPO法人Layer Boxにて、日本の伝統文化について、大学、高校、専門学校とともに、PV、3D、CGなどのコンテンツ制作および世界発信を行う。